

帯広市立翔陽中学校 学校だより 特別号④（教育活動報告の概要）



《学校教育目標》 豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望(ゆめ)を叶えよ 《今年度スローガン》 揺るぎない翔陽プライドの確立

令和8年1月19日（月）

帯広市立翔陽中学校

校長 大泉 昭人

TEL 24-3121

ホームページはこちら →



翔陽中HP

学校教育目標の達成に向けて

＜はじめに＞

急速なテクノロジーの発展、社会情勢の変化など、予測困難な「VUCA」と言われる時代の中で、生徒一人一人が、多様な人々と協働しながら持続可能な社会の創り手となることや、幸せや生きがいを感じ、社会全体が豊かさを感じられるようになる（ウェルビーイングの向上）ための教育の在り方が求められております。

＜令和の日本型学校教育＞

学校においては、子どもたちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」のよさを更に発展させ、子どもたちに未来社会を切り拓く資質・能力を確実に育むことが求められており、本校では「個別最適な学び」（個々の習熟度や興味に応じた学習）と、「協働的な学び」（多様な他者とよりよい考えを生む学習）を充実させる取組を進めてきました。

その様子は、隨時、学校だよりやホームページで紹介していくますが、活動報告の概要を本紙（特別号④）、具体を別紙（特別号⑤）でご紹介いたします。

＜学校教育目標＞

豊かな心で たくましく 意欲を持って 希望を叶えよ

ゆめ

＜目指す学校像＞

- 生徒が主体的に学び、笑顔あふれる学校
- 教職員が役割を自覚し、働きがいのある学校
- 保護者・地域が信頼をよせ、協働する学校
（ウェルビーイングを育む学校）

＜目指す生徒像＞

- 主体的に学び、向上心にあふれた生徒
- 何事にも挑戦し、やり抜くたくましい生徒
- 自他を尊重し、思いやりにあふれた生徒

＜教育活動の具体的報告＞

学校教育目標の達成に向けて、知・徳・体を一体で育む教育活動の具体として、①安全指導の取組、②学力向上の取組、③体力向上の取組、④豊かな心を育む取組、⑤小中連携（学びをつなぐ）の取組を行ってきました。（別紙：特別号⑤参照）

＜目標達成へのスローガン「揺るぎない翔陽プライドの確立」＞

翔陽中学校区には、優れた行動力を持ち、未開の地に足を踏み入れる勇気や苦難を乗り越えてきた進取の精神が「開拓者魂」として息



づいています。それを「翔陽プライド」と名付け、①「挑戦する」、②「仲間を大切に」、③「元気に笑顔で」、④「主体的に行動する」という4つの視点を大切にし、しっかり受け継いでいこうという願いを込めています。そして、「自己指導能力」を高めていこうという合い言葉にしています。

「雨は誰にでも降るんだよ。ただ、その時に、かさを持っていない人もいるってこと」（にじむらえいじ）

子どもたちを待ち受ける数々の試練、それを「雨」に例えたら、濡れるに任せのではなく、「かさ」を持って歩ける子どもたちになってほしい。

＜現在の翔陽生＞

アセス検査より（10月末の全校平均）

＜適応感＞

○全ての項目（生活満足感・教師サポート・友人サポート・向性的スキル・非侵害的関係・学習適応）… 50以上

○3つの項目（教師サポート・友人サポート・非侵害的関係）… 55以上

教育アンケートより（学校独自調査 12月末の全校平均）

＜自己肯定感＞

○自分には良いところがある… 89%（6月比+2）

＜向上意欲・自立＞

○将来の夢や目標を持っている… 70%（6月比+1）

○地域や社会をよくするために何かしてみたい… 70%（6月比+2）

＜多様性・共生＞

○自分の考えが伝わるよう工夫している… 74%（6月比+2）

○話し合い活動で、考えを深め広げている… 84%（6月比±0）

○自分と違う意見について考えるのは楽しい… 77%（6月比+2）

○話し合い互いの意見の良さを生かして解決していた… 79%（6月比+3）

＜幸福感＞

○普段の生活中で、幸せな気持ちになることがある… 92%

【今後に向けて】

※ 生徒の努力、保護者の協力により、全般的に向上しています。個々の課題に着目し、全ての生徒が向上していくよう、「翔陽プライド」を合い言葉に自己指導能力を育んでいきます。そして、(1)将来の目標（生き方）について考えを深める「キャリア教育」、(2)学び合いを支える「集団づくり」、(3)危険なとき、困ったときの対処法を体得する「安全教育」を通して、引き続き、知・徳・体を一体で育む教育活動の各取組を進めています。

今後も、学びの環境を保護者の皆さんと力を合わせてつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いします。

※ 本紙と別紙（特別号⑤）を参考にしていただき、保護者アンケート（学校評価）への回答をお願いいたします。

子どもたちが元気に学ぶことを願って…

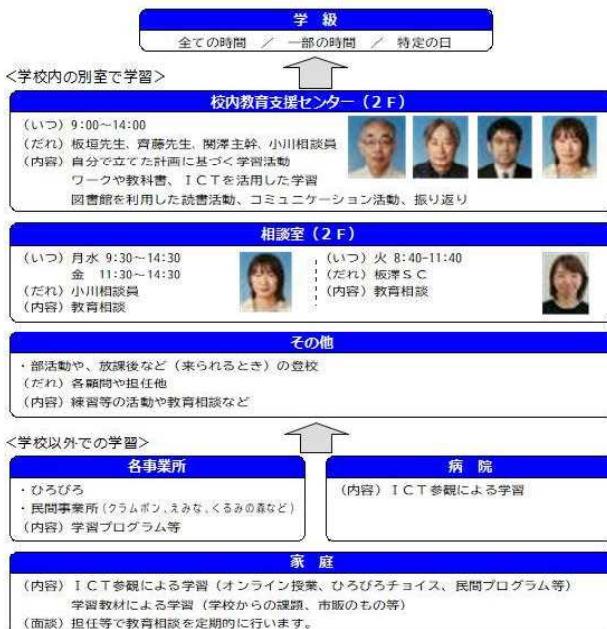
1. 登校支援の取組

<学校の願い>

社会的な自立に向け懸命の努力を続けている生徒の取り組みを学校として応援したいと思っています。学習はもちろん、人とのつながりから生まれる感動や共感、心のぬくもりや情熱などにふれることで人は成長します。学校に登校することが全てではありませんが、できるだけ多くの経験、充実した生活を送れることを願い、本人・ご家庭と相談しながら登校支援を取り組んできました。



<具体的な取組> 選択しながら段階的に



<相談窓口> 担任の先生、教頭、齊藤敏康先生（教育相談コーディネーター）

2. いじめや不登校等の未然防止と早期発見に向けて

<相手意識の醸成>

道徳を要とする全ての教育活動（別紙：特別号⑤参照）を通して、相手意識を醸成するとともに、生徒指導の視点を生かした教育活動を継続し、自己指導能力を高めるための取組を行ってきました。

<生徒主体のいじめ撲滅運動>

笑顔で楽しく過ごせる学校づくりをめざして、生徒会が中心となって各種イベントや活動を企画し、交流を進めてきました。

いじめ撲滅集会 した。あいさつ運動、いじめ防止サミット、いじめ撲滅集会などを通して、主体的にいじめ撲滅の啓発を行いました。

<多様な相談体制>

1. 早期発見のために（以下のツールを活用しています）

- ・心の健康アプリ（毎日）・翔陽版お悩みポスト（いつでも）・アセス（年2回）
- ・いじめアンケート（年3回）・心と体のチェックシート（夏冬休みの前後）

2. 相談する大切さや多様な相談相手を伝えるために

- ・SOSの出し方授業
- ・いのちの授業等

※授業の中で、多様な相談相手（担任以外の先生やSC、相談員、相談電話等の連絡先）を伝えています。また、「翔陽版お悩みポスト」（右カードも配付）では相談したい相手を指名できることも伝えています。（実際に様々な大人に相談がありました）



3. 教育相談の実施

・教育相談（年2回）・面談（随時）

※定例の教育相談以外に、日常的に相談できる時間確保のために、今年度より日課表を変更し、放課後の時間をつくりました。
(火・木は清掃がありません)

<実効性を高めるために>

1. 特別委員会による対応

・生徒指導委員会・校内教育支援委員会

※生徒の状況を共有し、支援・対応の方向性を検討します。
各対策チーム（下参照）で具体的な対応を実施します。

2. 対策チームによる対応

・相談室チーム・不登校支援チーム・いじめ対策チーム

※生徒の悩みや登校不安等への支援、いじめ防止・早期解決への具体的な対応を検討・実行しています。

【参考】本校いじめ防止基本方針 →



3. 学校・家庭の協働に向けて

<家庭と学校をつなぐ活動>

本校は主に4つの小学校から集まる中学校です。子どもたちは新たな人間関係づくりから始まりますが、保護者どうしや職員も同様です。お互いに顔見知りになることで、子どもたちの安心につながるという思いから、本校PTAでは「つながる」ことを大切にした活動を進めてきました。

1. 「情報でつなぐ」広報誌発行 <10/15広報部>



家庭と学校をつなぐ情報誌として発行してくれました。また、活動を通して会員同士の交流も大事にしています。

2. 「スポーツでつなぐ」ミニバレー大会 <11/7社会部>

普段なかなか顔を合わせられない会員同士ですが、汗を流しながら楽しく歓談する機会となりました。



ミニバレー参加者のみなさん(94名参加)

3. 「地域貢献でつなぐ」環境整備活動 <10/25事業部>



おしゃべりしながら楽しく作業を行いました。

環境整備の参加者のみなさん(35名参加)

4. 「子育てでつなぐ」教育講演会 <10/23事業部>



翔陽中エリアファミリー共催で実施しました。「子育て」をテーマに、会員同士が学び合う貴重な機会になりました。

5. 「校区でつなぐ」翔陽中グループ会議 <11/21役員>

校区の小中学校のPTA活動の取組について交流しながら、役員同士の親睦を深めました。



翔陽中グループのみなさん →

※ この他、総務部で懇親会や茶話会を企画したクラスもありました。

<思いを共有・協働へ>

「子育て」は、家庭と学校が共に悩み、共に楽しみながら、力を合わせて行うことが大切だと思っています。

そのために、各おたよりで「学校の様子や一緒に取り組みたいこと」を伝えさせていたいたいたり、授業参観・懇親会、PTA活動、教育相談等により「つながりをつくること」を大切にしたりしてきました。また、日常の保護者からの連絡や相談で「悩みや思いを共有」させていただきました。

今後も、思いを共有しながら協働していくようご協力をお願いいたします。

【参考】学校だより2号「一緒に取り組みたいこと」→

